

「悠久の街、足利」

作詞・曲 イザナギTARO

1

織姫神社の 参道を
登って眼下を 見渡せば
古都の風情が 息づいて
ひろがる街 ふるさと

八雲の杜（もり）から 八幡様へ
人の心 紡いできた

渡良瀬川を 染めて行く
夕日にわたし 泣きました

巡る季節の 景色には
いつも やさしさ 溢れてる
あなたと暮らしたい 足利の街

2

此処に集いし 学び舎の
歴史は古く 幾百年
足利銘仙 解（ほぐ）し織
名草（なぐさ）弁天 琵琶を弾く
栗田、早雲 美の心
明日の時代を 見つめてる
行道山（ぎょうどうさん）の岩壁に
浄因寺の鐘 響きます

千代に八千代に 建学の
たましい わたしに 流れてる
帰って 来たよ 足利の街

3

清らに咲いた 藤の花
枝垂れる園に 腰掛けて
千歳（ちとせ）桜の トンネルを
家族みんなで くぐります

浅間社（せんげん やしろ） 龍（たつ）のぼり
泣きじゃくる私 健やかに
おでこに朱印 初山の
祈る父母（ちちはは）思い出す

刹那に過ぎる 人の世も
何処かでよろこび 生まれてる
誰も あたたかい 足利の街

4

関東平野を 従え
久遠に建つ 鏝阿（ぼんな）寺の
秋を彩る 大銀杏
黄金にわたし 染まります

今も聴こえる 八木節の
祭囃子の 笛太鼓
つづく大門 石だたみ
あなたの 隣を歩きたい

巡る季節も 華やかに
いつも 幸せ 溢れてる
みんな おいでよ 足利の街

古き歴史を 携えて
新しき光り 放ち
今日も 陽光（ひ）が昇る 悠久の街
歌声 聴こえる 足利の街